



当院外来化学療法室をご紹介します

当院の外来化学療法室は、平成19年5月に新生児室を改装しオープンしました。化学療法を実施している診療科は現在、消化器内科・消化器外科・乳腺外科・整形外科です。

現在の外来化学療法室は元々新生児室であったことから、HEPAフィルターが設置されており、近年のコロナ禍のなかで化学療法治療により免疫力が低下した患者様においては、より安心して治療が行える環境が整っています。また、ベッド7台、リクライニングチェア1台の8床をワンフロアの中に配置し、患者様の安全性を確保しながらカーテンでプライバシーの確保も保てるように配慮しています。時間が長い治療もあるため治療中に無料でTVが視聴できることや、リクライニングチェアでなくベッドが多いことも「リラックスできる」と患者様には好評をいただいています。

患者様により安全に安心して治療を行っていただくために、当院では入院中に化学療法を行う場合でも外来化学療法室で実施しています。入院中でも外来化学療法室で治療を行う事で、外来治療に切り替わった後でも、同様の環境で同じスタッフが対応することが出来るため、患者様により安心を提供できていると実感しています。

化学療法治療は治療中だけでなく、治療後数日してから副作用が出現してくることが多くあります。そのため患者様は在宅で副作用の出現に対処することになります。その時に患者様が落ち着いて副作用に向き合い対処出来るように、いつ頃どのような副作用が出現する可能性があるかを、可能な限り丁寧に説明することを心掛けています。また、患者様の生活者としての視点から、現実的に対処できる方法を患者様と医療者で共に考えていく事を大切にしています。

文責：外来看護師長 中村 吉孝



外科 岩永医師が着任しました

7月から当院外科に赴任しました岩永孝雄と申します。前勤務地は桑名であり桑名市民病院から桑名市総合医療センターに勤務しておりました。しかしながら、その前は当院（四日市社会保険病院）に勤務しており、今回ご縁があつて14年ぶりに再赴任となりました。以前に比べて建物はやや老朽化しておりましたが、当時一緒に働かせていただいたスタッフの方が現在もたくさん働いていらっしゃる、皆さんの笑顔が大変懐かしく感じました。

今後主に消化器癌の診療に関して、手術および抗がん剤治療に携わっていただければと考えます。ゲノム治療が世の中を賑わせておりますが、まだまだ癌は根治できず亡くなる方がたくさんいらっしゃいます。30年以上この仕事に携わり、たくさんの患者さんの笑顔に喜びを感じ、たくさんの患者さんの悲しみに立ち会いました。あまり若くはありませんが、そのような経験を活かして地域の皆さんの診療に貢献させていただければと考えます。何卒よろしくお願い致します。

文責： 消化器外科部長 岩永 孝雄



岩永 孝雄（イワナガ タカオ）【消化器外科部長】

【専門分野】 消化器外科一般 【学歴】 H3年三重大学卒

【資格】 日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医・指導医・日本大腸肛門病学会専門医・指導医、日本臨床肛門病学会技能指導医、検診マンモグラフィ読影認定医師

【診察日】 月曜日初診、木曜日再診

小児科外来体制変更のお知らせ

小児科外来月曜日のみ初診受付を8：30～11：00までとさせていただきます。

また、水曜日栗原医師の診察は完全予約制となりますので、毎週水曜日は予約なしでの初診診察を行っておりません。ご紹介の際ご注意くださいようお願い致します。火、木、金は11：30までの初診受付となります。



四日市羽津医療センター 地域医療連携室 すずらん

〒510-0016 四日市市羽津山町10-8 病院代表TEL：059-331-2000

すずらん直通TEL：059-331-6003 すずらん直通FAX：059-331-6004

